

浦臼町舗装個別施設計画

平成 30 年 3 月

浦臼町建設課

目 次

1. 舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 舗装修繕予算の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度

3. 計画期間

- 3.1 計画期間
- 3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		A s 舗装	C o 舗装	
1 級市町村道	4 2 km	2 5 km	0. 3km	60%
2 級市町村道	2 9 km	1 0 km	0. 2km	35%
その他市町村道	7 7 km	1 6 km	0. 1km	21%
計	1 4 8 km	5 1 km	0. 6km	35%

※A s 舗装には簡易舗装を含む

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト削減を目指す

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・路線の重要性、利用形態などを踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路	中央線、宮下線、高脇線、田宮線
分類Dの道路	上記以外の道路

2.3 管理基準

健全度区分	区分Ⅰ (健全)	区分Ⅱ (表層機能保持段階)	区分Ⅲ (修繕段階)
MCⅠ	5. 1以上	4より大きく5以下	4以下

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	目視点検	3年に1度
分類Dの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

3. 計画期間

3.1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、10年とする

3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

これまでの点検結果を基に、今後10年間の舗装修繕費の見通しは、以下のとおりとなる。

年度毎の舗装修繕費（10年間）							単位：百万円
年 度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	
修繕費	12	15	15	15	15	16	
		H36年度	H37年度	H38年度	H39年度	合計	
		18	7	6	6	125	

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

- ・平成27年度に点検した14.0kmの診断結果は以下のとおり

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	計
分類Cの道路	6.7km	3.5km	3.8km	14.0km

5.2 対策内容と実施時期

- ・別図のとおり（区間、箇所毎の図表により明示）